

主 催
フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

主 管
日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)
食と花の世界フォーラム組織委員会

事務局
フードメッセ in にいがた2019運営事務局
(日本食糧新聞社内)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6F
日本食糧新聞社ビジネスサポート本部

<http://foodmesse.jp>

第11回

フードメッセ in にいがた2019

実施報告書

2019年 **11月6日水** ▶ **8日金**

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
「展示ホール」・「メインホール」

主催：フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市
主管：日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会

次回開催のご案内

第12回 フードメッセ in にいがた2020 (予定)

2020年 **11月11日水** ~ **13日金** (予定)

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」

同時開催

第7回 にいがた
6次化フェア2020 (予定)

お問い合わせは公式サイトから▼
<http://foodmesse.jp>

フードメッセ 検索

出展予約
受付中!

同時開催

第6回 にいがた6次化フェア2019

第5回 にいがた食の輸出商談会2019



<http://foodmesse.jp>

フードメッセ 検索

出展者・来場者ともに過去最大規模！「食」のビジネスチャンスが新潟市に集結。

国家戦略特区（農業特区）の新潟市を中心に、国内外の「食の魅力」を発信する国際総合見本市として今年で11回目を迎えた。「より良い食を求めて」をテーマに地域ブランドや高付加価値の食品・食材の出展、デモを交えた最新の食品機械・装置やトレンドを反映した容器・包装の展示などが一体となり3日間盛況となった。来場バイヤーとの活発な商談が行われ、ビジネスマッチング場としての機能はより一層充実。「海外バビリオン」の集中展示企画、同時開催展の「にいがた6次化フェア」、「にいがた 食の輸出商談会」を含め、多彩な国際総合見本市として定着した。

開催概要

- 名 称 ● 第11回 食の国際見本市 フードメッセinにいがた2019
同時開催 ● 第6回にいがた6次化フェア2019
第5回にいがた 食の輸出商談会2019
会 期 ● 2019年11月6日（水）～11月8日（金）
10:00～17:00（最終日は16:00閉場）
メインテーマ ● 「より良い食を求めて」
入場料 ● 3,000円（税込）※招待券持参者は無料
会 場 ● 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」・「メインホール」
主 催 ● フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市
主 管 ● 日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会
後 援 ● 国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所、農林水産省、外務省、
駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和
国駐新潟総領事館日本貿易振興機構（ジェトロ）新潟貿易情報センター、
(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、新潟県信用保証協会、
(株)日本政策金融公庫、(公社)新潟県栄養士会、(一社)全日本司厨士
協会新潟県本部、(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連
合会、(一社)新潟県調理師会、新潟市食品衛生協会、新潟市食品衛生
指導員協議会、新潟市旅館ホテル協同組合（順不同）
- 特別協賛 ● (株)ブルボン、亀田製菓(株)、JAグループ新潟、新潟万代島総
合企画(株)
協 賛 ● 亀田郷土地改良区、(一財)亀田郷地域センター、(株)新潟日報社、
新潟食料農業大学、(株)新潟クボタ、一正蒲鉾(株)、新潟薬科大学、
JA 越後中央、亀田商工会議所、JA新潟みらい、(株)サンプラス
ト三笠、(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、新潟観光
コンベンション協会、新潟経済同友会、新潟商工会議所、新潟
農業・バイオ専門学校、国際調理製菓専門学校、JA 新津さつき、
新津商工会議所、新潟信用金庫（順不同）



2019年の特徴 新潟県内、近隣県、首都圏そして海外から439事業者が出展。10,232名のバイヤーが、フードメッセならではの商材・技術を求める。

県内企業だけでなく隣接県および県外企業からもバランス良くバイヤーが来場し、本州日本海側および首都圏、双方を結ぶビジネスマッチングの機会を創出した国際総合見本市となった。

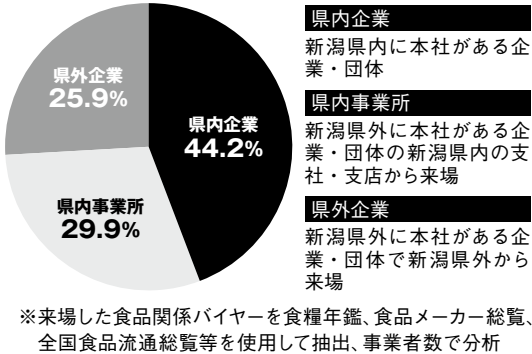
- 新潟市を舞台に食産業の情報が集結する全国規模の見本市
- 出展者のプレゼンは試食・デモを交えた効果的で質の高いものが高評価
- これからの食を見据えたセミナーなど、農業特区新潟ならではの食の発信
- 同時開催した「にいがた6次化フェア」の効果もあり、より広域の出展を実現



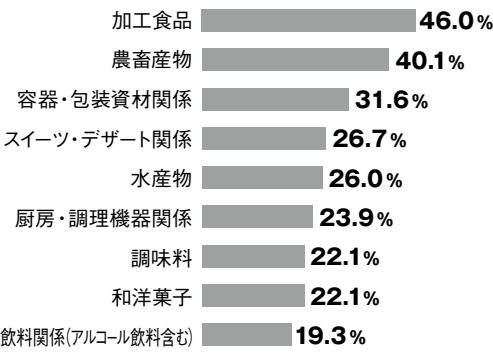
◎ 2019年来場者数



◎ バイヤー企業の来場地域分析



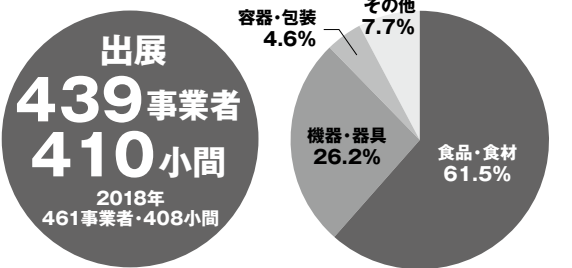
◎ バイヤーが関心を示す出展品目（複数回答可）



出展者状況

		出展者計	食品・食材	機器・器具	容器・包装	産学研究	その他
2019	出展者数	439事業者	270	115	20	-	34
	出展比率	410小間	61.5%	26.2%	4.6%	-	7.7%
2018	出展者数	461事業者	270	116	13	8	54
	出展比率	408小間	58.6%	25.2%	2.8%	1.7%	11.7%
2017	出展者数	450事業者	252	107	20	7	64
	出展比率	317小間	56.0%	23.8%	4.4%	1.6%	14.2%

※2019年は産学研究の区分は設定なし



出展の特徴 農産、畜産、水産、酒類、スイーツ… 新規出展も多く、熱気溢れる展示会に。

- キーワードは個性、付加価値、チャレンジ、地域性
高付加価値化を進める地域の食品、食材が新潟そして全国から集まる見本市として定着。生産量は少なくとも個性ある地域食品、付加価値の高い生産方法確立にチャレンジする生産者、地域の力を結集する地域団体…差別化を求めるバイヤーが国内外から参集した。
- 商工会議所・商工会・自治体などが食ビジネス振興に意欲
県内外、各地の商工会・自治体などが、地域ブランドを意識した統一コンセプトで出展する形が拡大。出展ノウハウ、商談ノウハウの習得セミナーも活発化し、テスト的に1小間を複数事業者がシェアする出展スタイルが減り、1社・1小間での出展形式が増加した。地域食材発掘を狙うバイヤーにも、独自のメッセージを発信する小規模生産者の出展小間の増加は好評を博した。
- 先端厨房機器の展示も続々登場
地方では貴重な最新機器展示、デモ展開の場として定着した。地方にいなが様々な技術や先端情報に触れられるチャンスである。当展をきっかけとする大型設備納入の実績も報告されており、地域の生産技術向上に向けて食品・食材とバランスのとれた展示となった。

同時開催

「第6回 にいがた6次化フェア2019」

全国の6次産業化に取り組む事業者が新潟に集結し、個性溢れる地域食品・食材を探す有力バイヤーとのマッチング機会を創出。展示会に出展経験の無い小規模事業者でも出展しやすい条件を整備した。

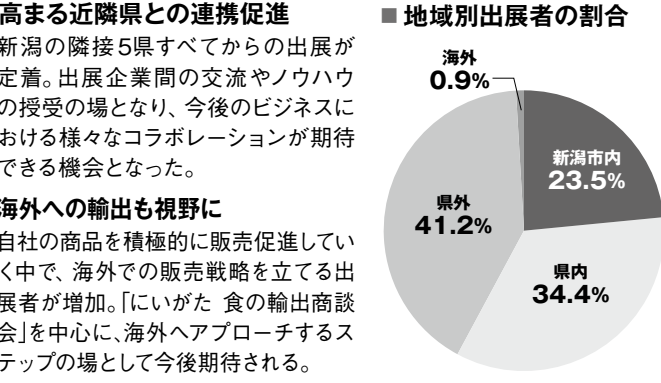
「第5回 にいがた 食の輸出商談会2019」

日本産食品・飲料の輸出に取り組む事業者を対象に、海外から招いた食品バイヤーとの個別商談会を開催した。参加事業者の輸出ニーズをヒアリングして、それぞれに応じた商談をアレンジ。新潟を拠点に海外への販路拡大を支援した。

地域別出展分布 「食」の情報受発信基地・新潟へ。フードメッセはさらに高みを目指す。

		出展者計	市 内	県 内	県 外	海 外
2019	出展者数	439事業者	103	151	181	4
	出展比率		23.5%	34.4%	41.2%	0.9%
2018	出展者数	461事業者	123	165	150	23
	出展比率		26.7%	35.8%	32.5%	5.0%

- 高まる近隣県との連携促進
新潟の隣接5県すべてからの出展が定着。出展企業間の交流やノウハウの授受の場となり、今後のビジネスにおける様々なコラボレーションが期待できる機会となった。
- 海外への輸出も視野に
自社の商品を積極的に販売促進していく中で、海外での販売戦略を立てる出展者が増加。「にいがた 食の輸出商談会」を中心に、海外へアプローチするステップの場として今後期待される。



都道府県別出展分布 新潟から全国へ、世界へ繋がる「食」の国際総合見本市を目指して。

新潟県	151	長野県	9	宮城県	5	静岡県	3	山梨県	2	茨城県	1	滋賀県	1	愛媛県	1	オランダ	1
新潟市	103	福島県	9	群馬県	5	京都府	3	岐阜県	2	富山県	1	和歌山県	1	熊本県	1	オーストラリア	1
東京都	57	愛知県	9	栃木県	5	広島県	3	福岡県	2	石川県	1	島根県	1	沖縄県	1	ブラジル	1
大阪府	14	神奈川県	8	千葉県	4	大分県	3	北海道	1	福井県	1	岡山県	1			フィリピン	1
埼玉県	11	山形県	5	兵庫県	4	宮崎県	3	岩手県	1	三重県	1	山口県	1				

計439事業者

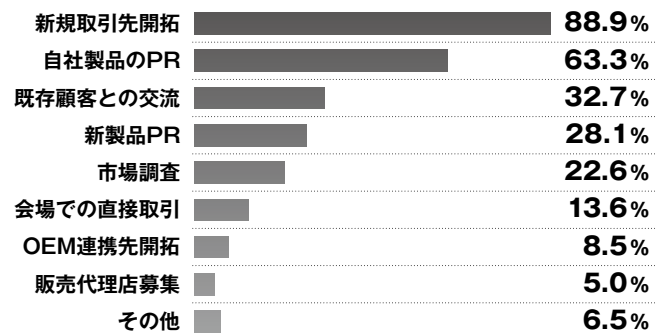
主な来場者 県内外から10,232名の食品産業関係者が来場

※ご来場いただいた企業・団体の一部を、事業者の申請に基づいて分類し、一部抜粋の上順不同で掲載しています。

[illegible]

出展者アンケート

Q1 今回はどのような目的で出展なさいましたか？(複数回答可)



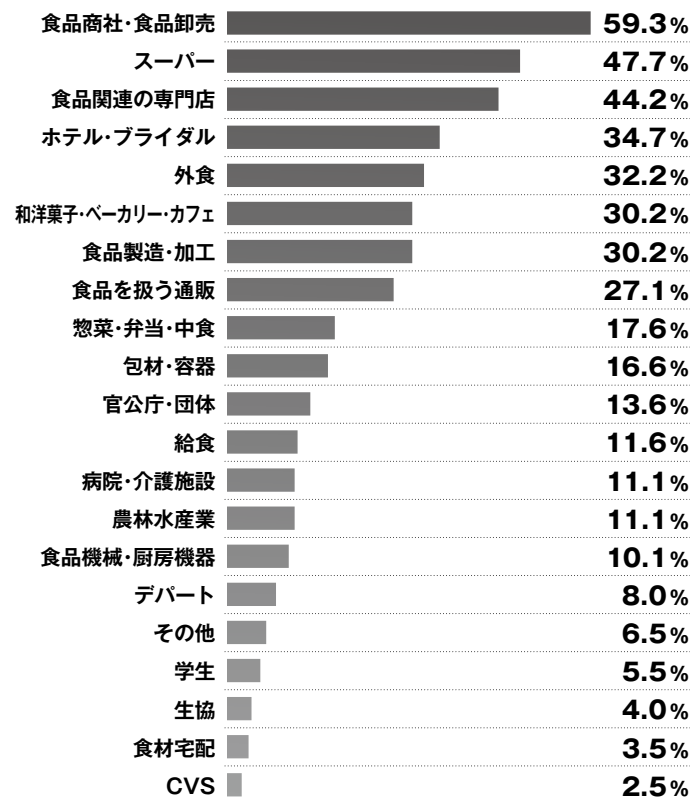
Q3 ブース来訪者総数は何名でしたか？

平均 **203.9** 名

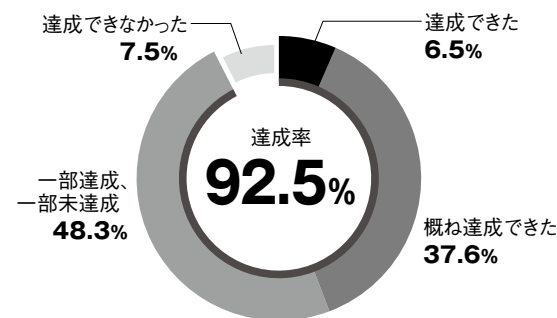
Q5 会期中の成約見込件数は何件でしたか？

平均 **2.9** 件

Q7 商談を行った業種を教えてください(複数回答可)



Q2 それらの目的は達成できましたか？



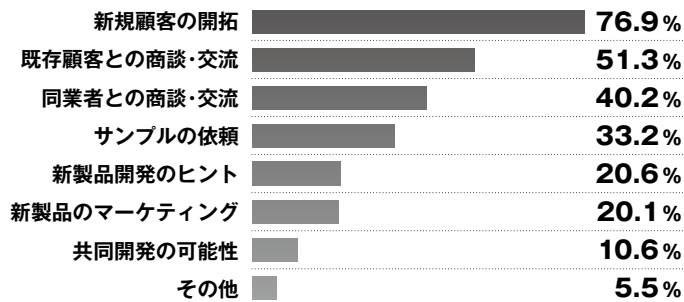
Q4 会期中の商談件数は何件でしたか？

平均 **13.4** 件

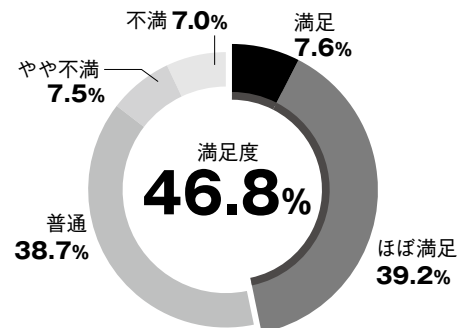
Q6 会期中の成約見込金額はどのくらいでしたか？

平均 **562,685**円

Q8 どのような成果がありましたか？(複数回答可)

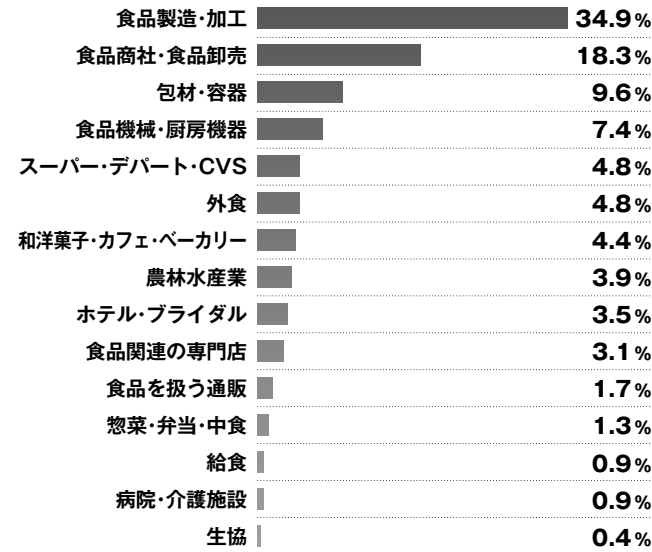


Q9 本展示会の総合評価をお聞かせください

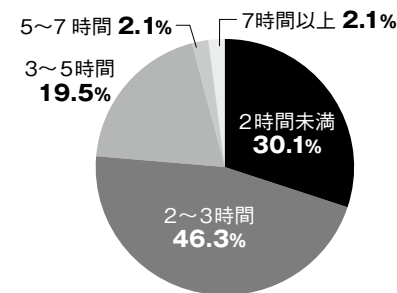


来場者アンケート

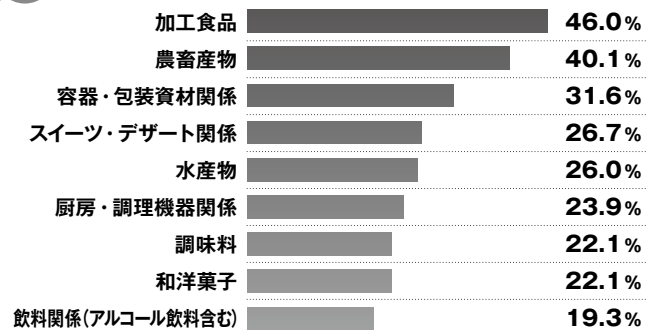
Q1 業種を教えてください



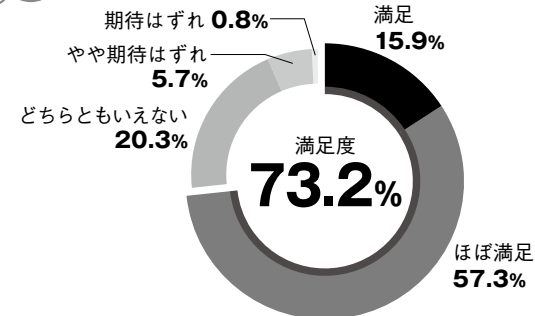
Q3 会場での滞在時間を教えてください



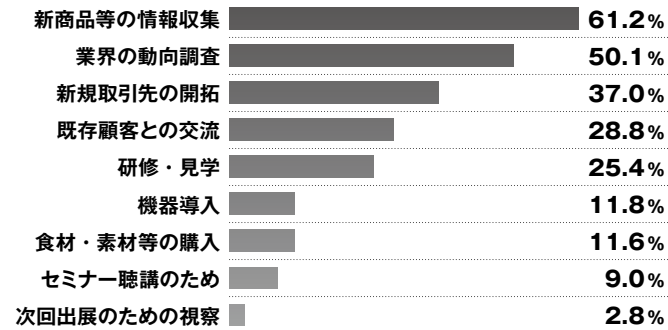
Q5 今後どのような出展品目の増加を望みますか？(複数回答可)



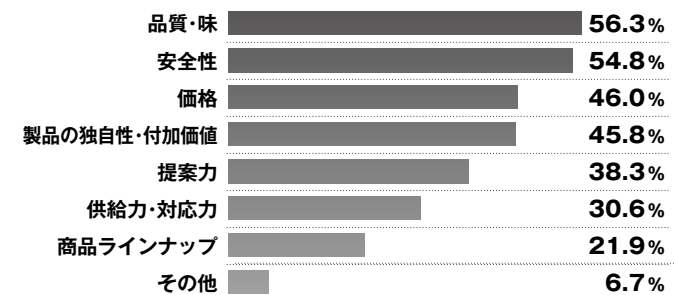
Q6 ご来場に対する満足度はいかがでしたか？



Q2 ご来場の主な目的は何でしょうか？(複数回答可)



Q4 仕入れ先や取引先に要求する条件として、特に重要視するものは何ですか？(複数回答可)



Q7 来場地域

新潟	72.8%	—
東北	3.9%	青森県・山形県・宮城県・福島県
北信	4.1%	富山県・石川県・長野県
関東	13.9%	東京都・茨城県・栃木県・群馬県 埼玉県・千葉県・神奈川県
東海	1.8%	愛知県・岐阜・静岡
近畿	2.1%	大阪府・兵庫県・滋賀県
四国・九州	1.5%	岡山県・香川県・愛媛県・広島県・宮崎県

※一部、本社所在地で集計。



イベント・展示企画・セミナー・「にいがた 食の輸出商談会」

オープニングセレモニー



開会式では中原ハ一新潟市長ら主催関係者および協力会社、各国の新潟総領事館、地域金融機関、商工団体などが登壇してテープカットが行われ、「フードメッセ in にいがた2019」が盛大に開幕した。

【開会式】
11月6日(水)
午前9時45分よりセレモニー開始
午前10時開場

商工団体・自治体ブース

地方創生の核である「地域食品」の販路拡大支援のため、地元の中小事業者を取りまとめて出展される商工団体・自治体などが年々増加。今回は約40の団体が出展し、首都圏ではなかなかみることができない、本州日本海側を中心とした魅力溢れる地域ブランドを発信した。来場バイヤーに対して効果的なPRの場となり、地域ブランドづくりおよび地域活性化のサポートに寄与した。今後は新潟県内はもちろん、近隣県においても同様の出展ケースが拡大していくことが期待される。

【出展団体】新潟県中小企業団体中央会 ものづくり支援センター／新潟商工会議所／黒埼商工会／加治川商工会／阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会／聖籠町商工会／新発田商工会議所／村松商工会／食まちうおぬまネットワーク推進協議会／与板町商工会／小千谷商工会議所／十日町商工会議所／柏崎商工会議所／南魚沼市／塩沢商工会／三条商工会議所／加茂商工会議所／新井商工会議所／能生商工会／上越商工会議所／浦川原商工会／頸北等商工業振興協議会／牧商工会／安塚商工会／清里商工会／上越南商工業振興協議会／佐渡国仲地区商工会／佐和田商工会／山形県長井市／Akihaもち麦プロジェクト／新潟市北区特産物研究協議会／新潟市西蒲区産業観光課／新潟市西区・いもジェンヌ農商工連携協議会／新潟市農業活性化研究センター／新潟市福祉部障がい福祉課／新潟市南区 産業振興課／新潟市江南区食の特産品開発協議会／西蒲区商工会連絡協議会／福島市商工会広域連携協議会（順不同）



海外パビリオン

新潟県及び隣接エリアのスーパー／百貨店／外食／ホテル・旅館などへの販路拡大を目指し、今回初出展の国をはじめ、アジアからヨーロッパまで多彩な商材をPRした。首都圏や関西圏に比べ、アピールする場の少ない本州日本海側のマーケットを攻略する絶好の機会として商談や情報交換が活発に行われていた。

【参加国一覧】 ●オランダ ●オーストラリア
●ブラジル ●フィリピン（五十音順）



にいがた 食の輸出商談会2019

新潟を拠点とする食品輸出の促進を目指して「にいがた 食の輸出商談会2019」を開催した。商談会では、シンガポール、オーストラリアを始めとする世界各地の食品バイヤーと新潟県内企業及びフードメッセ出展者による個別商談を実施した。コメや日本酒を始め、農水産品、加工食品、調味料など幅広い商品の商談が行われ、バイヤーからはいずれも高い関心が示された。



商談実績

バイヤー数：20社
日本側参加社数：40社
商談件数：199件
成約見込件数：129件（バイヤーレポートベース数値）

セミナー

「最先端の食と農」、「世界に向けた地方の挑戦」、「食産業への新提案」など、それぞれの専門講師によって、新潟から新たな情報を発信する機会となり、3日間ともに多くの聴講者で賑わった。

11/6水

11:00▶12:00 聴講者数 約100人

「食・農による地方創生の取り組み」

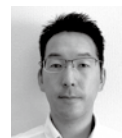
【講師】NSGグループ 代表
(公財)食の新潟国際賞財団
理事長
池田 弘 氏



13:00▶14:00 聴講者数 約80人

「阿賀野市の『食』発見～企業・商工会・市連携による販路開拓～」

【講師】阿賀野市役所
企画財政課企画係(産業振興担当)
主任
古田島 和人 氏



【講師】水原商工会 事務局長
前田 勝夫 氏



15:00▶16:00 聴講者数 約20人

「ブランドの戦略的展開に知財を活かす～商標・意匠・地理的表示保護制度～」

【講師】日本弁理士会
農林水産知財対応委員会
委員長
中山 俊彦 氏



11/7木

11:00▶12:00 聴講者数 約60人

「準備は大丈夫? 猶予期間が迫った食品表示対応と新たな規制の方向」

【講師】公立大学法人宮城大学 名誉教授
(一社)食品表示検定協会
理事長
池戸 重信 氏



13:00▶14:30 聴講者数 約50人

「HACCP制度化・輸出促進にも対応 民間認証プログラムJFSの活用」

13:00▶13:45
GFSI承認 JFSの概要と活用
【講師】(一財)食品マネジメント協会
普及推進部長
仲谷 正員 氏



13:45▶14:00 JFS-B取得事業者からの取組事例紹介 ～新潟製粉株式会社～

【講師】新潟製粉(株) 常務取締役
藤井 義文 氏



14:00▶14:15

JFS-B取得の意義、ポイント等について

【講師】(株)BMLフード・サイエンス
取締役
藤田 孝 氏



質疑応答・アンケート記入

15:00▶16:00 聴講者数 約25人

「『食品ロス削減推進法』公布～食品ロス削減は次のステージへ～」

【講師】(公財)流通経済研究所
主任研究員
石川 友博 氏



11/8金

11:00▶12:00 聴講者数 約90人

「グローバル食品TOP10トレンド～食品トレンドリサーチInnovaによる世界レベルの情報源～」

【講師】Innova Market Insights
日本カンントリーマネージャー
田中 良介 氏



13:00▶15:00 聴講者数 約60人

●北陸農政局新潟県拠点特別セミナー

「新潟ブランドを全国へ!～商品の魅力を伝えるFCPシートの作り方～」

【講師】スモールマーケティングオフィス(株) 代表
6次産業化中央サポートセンター
プランナー
木村 俊朗 氏



にいがた6次化フェア

出展効果向上に向けた取り組み

「フードメッセ in にいがた」では、地方の食品産業の活性化策として国が推進する6次産業化にいち早く注目し、全国に先がけ6次産業化の事業者を対象にした専門展示会を開催。フードメッセとの同時開催による来場動員効果を活かし、6次産業化にとって重要課題である販売先ルートの確保にフォーカスし、出展者の販路開拓を支援してきた。

「第6回にいがた6次化フェア2019」においては、全国から6次産業化に取り組む15事業者が出展し、まだ知られていない地域食品・食材を探す有力バイヤーとの商談機会を提供した。

その前段として、出展者説明会で商談テクニックの勉強会を開催する等、展示会に出展経験の無い小規模事業者でも、今後の販路拡大に向けたステップアップができるよう、準備段階からのサポート体制を強化した。各事業者のレベル向上を図る機能を充実することで、会期当日の商談で自社商品の魅力が来場バイヤーに明確に伝わり、成約率を高めるサポートに繋がっている。

今後もこのようなサポートを継続して、出展者・来場者双方にとって、より一層質の高い展示会として確立していくことが期待される。

また、事業者同士の情報交換の場としても有効活用され、新潟から全国の6次産業化に取り組む事業者のネットワーク拡大にも期待が高まった。



6次化相談コーナー

6次産業化に取り組む事業者の育成・支援を目的に設立された「6次産業化中央サポートセンター」の全面的な協力を得て、出展する事業者だけでなく、来場する1次産業事業者の6次産業化に関する様々な悩み・疑問に答えることを目的に、「6次化相談コーナー」を開設。

6次産業化中央サポートセンターから派遣された専門プランナーが、事業者の抱える様々な悩み・課題に対し、個別に丁寧なアドバイスをを行い、当日の商談サポートおよび今後の6次産業化の発展・定着に寄与した。



北陸農政局新潟県拠点特別セミナー



**「新潟ブランドを全国へ！
～商品の魅力を伝える
FCPシートの作り方～」**

木村 俊朗氏

(スモールマーケティングオフィス(同)代表、
6次産業化中央サポートセンター プランナー)

地域産品開発を通して、中小企業と地域の活性化および地方創生に貢献されている木村氏を講師に迎え、特別セミナーを開催。

大手ナショナルブランドとの不毛な「価格競争」を避け、お客様に、バイヤーに振り向いてもらうための「武器」としてFCPシートを位置付け、自分の商品の価値を発見し、発信するための考え方と具体的な手法について分かりやすく解説。聴講者の多くが課題解決のヒントを得る機会となった。



「フードメッセ in にいがた」の特長のひとつに、出展成果をサポートする情報提供がある。

食品市場を知り、展示会・商談会の基本を身に付け、出展が実り多い機会となるような合同勉強会を出展者説明会とセットで毎年実施している。さらに、専門知識・現場経験が豊富な講師陣が出展者のレベルアップを個別にサポートする「出前セミナー」もご要望に応じて提供している。

出展者説明会

■ 日程：2019年9月11日(水) 14:30～
■ 会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
中会議室 201

事前の準備、開催までのスケジュール、搬入・搬出における注意事項、小間装飾に関するルール、公式サイトでの出展者情報の発信方法などを、出展要項に基づいて事務局より説明。多数の出展担当者が真剣に耳を傾けた。



出展者合同勉強会

■ 日程：2019年9月11日(水) 13:30～
■ 会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
中会議室 201

出展者説明会に先立ち、豊富な事例を紹介しながら展示会商談テクニック向上セミナーを開催。説明会場の脇にブースのサンプルを展示し、多くの出展担当者が当日の自社ブースのデザインの参考に見学した。



出前セミナー

フードメッセへの出展を予定する商工団体、自治体などを対象に“フードメッセ in にいがた”で培った「成果を上げるノウハウ」を展示会出展経験の少ない事業者伝える「出前セミナー」を2019年も有料で開催した。

本セミナーはフードメッセを「販路開拓の実践の場」として位置づけ、出展経験の少ない事業者にも販路開拓に必要なノウハウ、スキルを学び、不安なくバイヤーと商談ができるようなプログラム構成が特徴。

展示会出展の基礎知識、バイヤーに伝わるFCPシートの作成方法など、経験豊富な講師陣が専門的な見地から出展事業者ごとの課題に的確なアドバイスを行う事で、出展成果の向上を実現している。

■ 2019年度 出前セミナー実施団体

【大和商工会(出展者：南魚沼市)】

日程：2019年9月6日(金)、10月1日(火)、7日(月)
会場：南魚沼市役所、南魚沼市図書館 ほか
参加人数：27名

【新潟商工会議所】

日程：2019年9月17日(火)、25日(水)、
10月8日(火)、11日(金)、11月21日(月)
14:00～16:00
会場：新潟商工会議所 大会議室
参加人数：38名



大和商工会(出展者：南魚沼市)セミナー風景



新潟商工会議所 セミナー風景

＜各種媒体への開催告知＞



★近代食堂 (2019年6月号) ★日本食糧新聞社 (2019年10月25日付) ★にいがた経済新聞 WEB (2019年11月5日付)



★日本食糧新聞 (2019年11月6日付)

■その他媒体■
近代食堂 (2019年11月号)

＜開催レポート＞



★新潟日報 6面 (2019年11月7日付) ★日本食糧新聞 (2019年11月8日付)



★日本農業新聞 12面 (2019年11月12日付)



★日本食糧新聞 (2019年11月25日付)

<テレビ>

局名	番組名
NHK新潟放送局	NHKニュース 新潟ニュース610
BSN新潟放送	BSN NEWS ゆうなび
TeNYテレビ新潟放送網	夕方ワイド新潟一番
NST新潟総合テレビ	FNN・NST Live News it! NSTこんやのニュース

<Web媒体>

媒体名	掲載日
FNN.jp プライムオンライン	2019年11月6日
NHK新潟 NEWS WEB	2019年11月6日
朝日新聞デジタル	2019年11月7日

その他、各種媒体で掲載多数

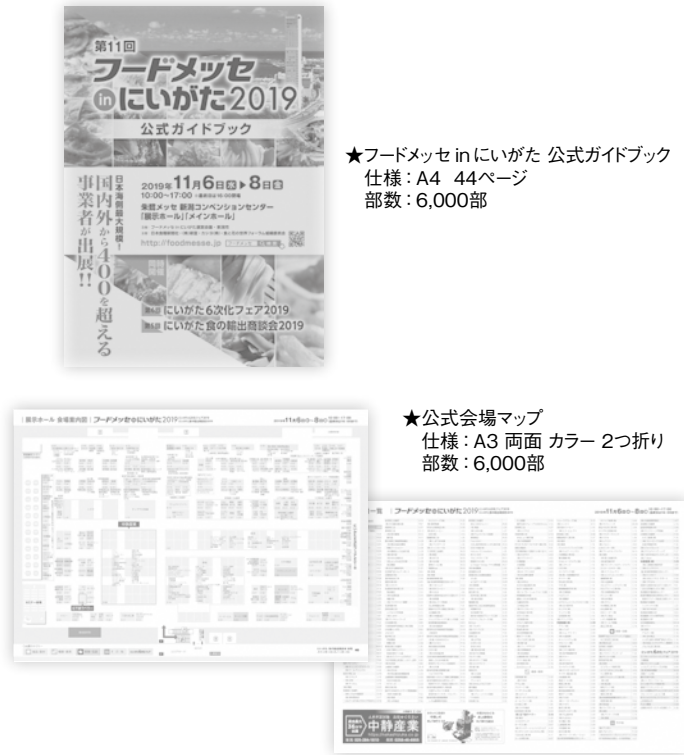
＜出展プロモーション＞



★日本食糧新聞 全5段 (2019年7月29日付)

■新聞広告■ ・日本食糧新聞 対象地域：全国

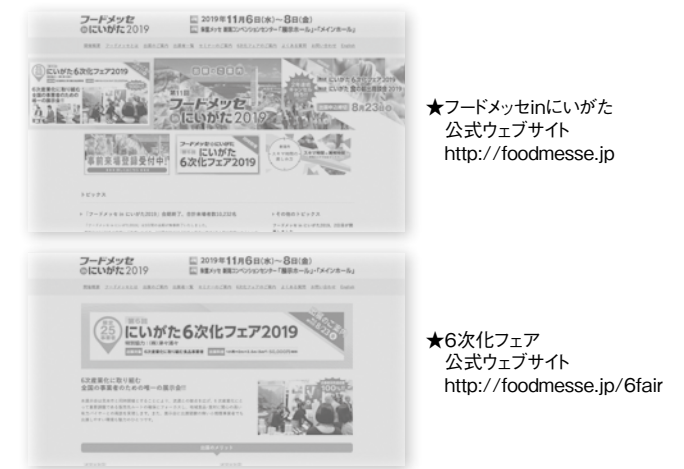
＜公式ガイドブック／公式会場マップ＞



★フードメッセ in にいがた 公式ガイドブック
仕様：A4 44ページ
部数：6,000部

★公式会場マップ
仕様：A3 両面 カラー 2つ折り
部数：6,000部

＜公式ウェブサイト＞



★フードメッセ in にいがた 公式ウェブサイト
<http://foodmesse.jp>

★6次化フェア 公式ウェブサイト
<http://foodmesse.jp/6fair>

＜誘客プロモーション＞



★日本食糧新聞 全5段 (2019年10月25日付)

★日本外食新聞 (2019年10月25日付)

■新聞広告■
・日本食糧新聞
対象地域：全国
・新潟日報
・おとなプラス (新潟日報)

★日本食糧新聞全15段 (2019年10月28日付)

＜招待状＞



★招待券
仕様：A3 両面 4色×1色
巻3つ折り
部数：150,000部

＜ポスター＞



★仕様：B2 カラー
部数：1,000部

＜会場大型バナー＞

